

意見書案第 7 号

学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションの適切な推進を求める意見書案

上記の意見書案を次のとおり福岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和3年6月23日

福岡市議会

議長 阿部 真之助 様

提出者 福岡市議会議員

堤 田 寛

勝 山 信 吾

中島 まさひろ

近 藤 里 美

津 田 信太郎

尾 花 康 広

はしだ 和 義

淀 川 幸二郎

堀 本 わかこ

田 中 たかし

学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションの適切な推進を求める意見書

現在、教育の現場では、「誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学び」の実現を目指す「GIGAスクール構想」の一環で、児童生徒に一人一台の情報端末の貸与、及び校内の高速ネットワーク整備が進められております。

また、これらのハード面の取組に加えて、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実や、「特別な配慮を必要とする児童生徒の学習上の困難の低減に資するもの」として、「デジタル教科書」の導入も進められようとしています。

「GIGAスクール構想」に対しては、ICTを活用したオンラインでの授業や宿題の配布、さらにはデジタル教科書やデジタルドリルの活用など、各人の状況に合わせた学習を推進することにより、多様な学びの実現と教員の負担軽減などへの期待が高まっています。

一方で、全ての教員が情報端末を活用した一定レベルの授業を行うことができるように、ICT活用指導力や個人情報への取扱い及び管理などの教師の資質・能力の向上が求められます。また、デジタル教科書・教材は、学校から貸与された端末を使い、学校のシステムに接続する必要があり、例えば、転校先でも復習や学びが継続できる環境を整備しておくことも重要です。

さらに、デジタル教科書のみを使用した場合には、学習の基本能力である「読解力」の低下が危惧されます。そこで、各自治体において、Society5.0時代を生きる子どもたちにふさわしい教育を推進するため、学校教育にICTを活用し、更なる教育の充実を図るためのデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」という。）の推進に向けて取り組んでいくべきです。

よって、福岡市議会は、国会及び政府が、次の事項について迅速に対応されるよう強く要請します。

- 1 情報端末の利活用、個人情報の取扱いなど、教育DXに対応する教員研修の充実について検討を進めること。
- 2 システムやソフトウェアの整備、情報端末や通信設備の修繕や定期更新など、教育DXに関する学校教育予算の充実・確保について検討を進めること。
- 3 様々な会社の情報端末とデジタル教科書と個人認証システムの互換性を確保するための、統一規格について検討を進めること。
- 4 よく聞き、よく読み、よく書くなどの生涯学び続けるための基本的な「学ぶスキル」を身に付ける上で、対面学習の機会を確保するとともに、紙媒体との併用を検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

衆議院議長，参議院議長，内閣総理大臣，総務大臣，財務大臣，

文部科学大臣 宛て

議 長 名



